



杉山 邦男

東邦大学医療センター大森病院臨床生理機能
検査部

てんかんは睡眠により誘発されやすい疾患です。しかし PSG で用いられる脳波は、電極数が少なくてんかん性異常波が検出しにくいというえ、記録条件の違いにより評価が難しいことがあります。本公演では脳波検査の基礎と、一般的な脳波検査で記録されたてんかん性異常波が、PSG でどのように表現されるかを説明いたします。また、近年注目されている非痙攣性てんかん重積状態についても触れたいと思います。よろしく願いいたします。